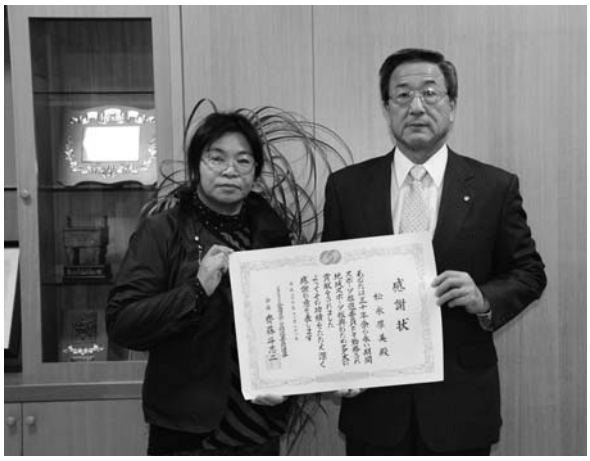
## 学校ブックフェスティバル開催

11月20日、新篠津小学校体育館で北海道立図書館の主催による「学校ブックフェスティバル」が開かれ、全校児童162人がビニールシートの上に置かれた1600冊の本を手にとりながら、興味のある本を探していました。

この事業は、読書の楽しさを味わうことで読書意欲を引き出すことを目的に本村では今回初めて行われました。

この日は、村のグループ「ぽこ・あ・ぽこ」による読み聞かせや道立図書館職員によるブックトークショーでは、算数の絵本などお奨めの図書が紹介されました。本の貸出方法の説明後、児童らはスタート合図とともに敷き詰められた本に駆け寄り、ほとんどの児童が４～５冊を借りていました。



## 30年勤続スポーツ推進委員表彰

11月21日、新篠津村スポーツ推進委員長の松永厚美さんが和歌山市で開かれた第54回全国スポーツ推進委員研究協議会の席上で、30年勤続スポーツ推進委員表彰を受け、その受賞を東出村長に報告するため、11月25日、役場村長室を訪れました。

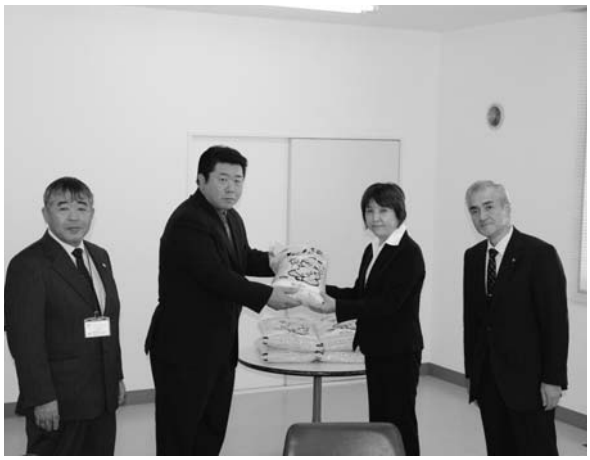
松永さんは昭和58年４月に新篠津村体育指導委員（現スポーツ推進委員）に就任。以来30年以上、村のスポーツ振興に寄与。平成21年２月には、文部科学省が推進する総合型地域スポーツクラブとして「遊ゆうクラブ」の設立に関与するなど村民の健康や体力の向上に多大な貢献されてきました。

## 普段から足の観察を！糖尿病講演会

12月2日、保健センターで北海道医療大学歯学部内科学講座・歯科内科クリニック高橋伸彦医師を講師に「糖尿病、何がそんなに怖いのか？」と題した糖尿病講演会が開かれ、村民約20人が参加し、メモを取るなど熱心に聞き入っていました。

高橋医師は糖尿病の患者にだけ発症する三大合併症「神経障害」「網膜症」「腎症」や合併症が起きるまでの経過などをわかりやすく説明していました。

また、糖尿病の患者は、足の神経が傷みやすく動脈硬化などで足先の血流が悪くなり小さな傷でも化膿し壊疽（えそ）するなど足の病変が起きやすい場所なので「普段から注意して足を観察してください」と参加者らに訴えていました。



## 学校給食「YES!clean米」贈呈式

12月3日、自治センター青年女性研修室で、学校給食「YES!clean米」贈呈式が開かれ、ＪＡ新しのつと村クリーン米生産組合が同米「田楽福」（ななつぼし・学校給食１カ月相当分）を村教育委員会に贈呈しました。

これは、村の子ども達に地元の収穫された安心・安全な農産物を学校給食で食べてもらい、子ども達の成長や食育の推進、地産地消を図ることを目的に昨年から行われています。

村教育委員会の山元栄委員長は「子ども達に安心安全な農産物の大切さなどの食育の推進を図るには、YES!clean米は最適。贈呈していただき感謝します」とお礼を述べていました。